

令和5年度事業報告書

1 概要

令和5年度の当機構の業務は、新型コロナも落ち着く中で、オンライン方式の活用等の工夫により、概ね年度当初に計画していた調査研究、表彰事業、講演会開催等の事業を実施することができた。その概要は以下のとおりである。

- (1) 国、地方公共団体からの受託調査については、市街地再開発事業における公共性の拡張等と地域との持続的な連携の実現に向けた制度改善等検討調査、まちなか再生に向けた官民連携によるエリアマネジメント、ウォークブル施策の展開に係る調査等を受託し、オンライン会議等を活用しつつ、実施した。
- (2) 国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。
- (3) 当機構が主催する「土地活用モデル大賞」については、現地調査を実施するとともに、オンライン方式による双方向のヒアリング等により、国土交通大臣賞等の選定を行った。
- (4) 当機構が事務局業務を担っている都市地下空間活用研究会（地下研）とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）については、会員メンバーと共に調査研究活動や講演会、見学会を実施した。

2 事業の実施状況

(1) 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(イ) 理事会

① 第31回理事会 令和5年6月1日

於：（一社）国際建設技術協会 会議室

- | | |
|------|---|
| 議案 | <ul style="list-style-type: none">・令和4年度事業報告（案）及び収支決算（案）について・令和4年度公益目的支出計画実施報告書（案）について・理事の推薦について・第14回定時評議員会の招集について |
| 報告事項 | <ul style="list-style-type: none">・職務執行状況報告について・財産の運用状況について・賛助会員の状況について |

- ② 第32回理事会 令和6年3月27日
於：（一財）都市みらい推進機構 会議室
議案 ・令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
報告事項 ・職務執行状況報告について

（ロ）評議員会

- ① 第14回定時評議員会 令和5年6月22日
於：（一社）国際建設技術協会 会議室
議案 ・令和4年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
・令和4年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
・理事の選任について
・評議員の選任について
報告事項 ・令和5年度事業計画及び収支予算について
・財産の運用状況について
・賛助会員の状況について

（2）まちづくり情報交流活動

（イ）「先進的なまちづくり事例のご紹介」ページの運営

先進的なまちづくり事例等の情報を全国に提供するため、当機構のホームページに公民連携、柔軟な市街地整備、エリアマネジメントなどをキーワードとして全国で展開されている先進的なまちづくり事例等を紹介するページを設けているが、昨年度までに累計264件を紹介した。

- | | |
|-------------------|------|
| ・「多様なまちづくり事例編」 | 21件 |
| ・「まち交大賞編」 | 111件 |
| ・「コンパクトなまちづくり大賞編」 | 12件 |
| ・「先進的まちづくり大賞編」 | 5件 |
| ・「まちづくりアワード編」実績部門 | 8件 |
| 構想・計画部門 | 4件 |
| ・「土地活用モデル大賞編」 | 103件 |

（ロ）「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報を提供するため平成16年に開設した「まち交ネット」において、「都市再生整備計画」の検索システムに加え、全国の各都市で策定が進められている「立地適正化計画」の情報に関する検索システムを付加し、随時更新している。

（3）調査研究

（イ）受託調査

国、地方公共団体等から調査等10件を受託し、実施した。

①国からの受託調査（2件）

- ・市街地再開発事業における公共性の拡張等と地域との持続的な連携の実現に向けた制度改善等検討業務

（国土交通省都市局）

- ・まちなか再生に向けた官民連携によるエリアマネジメント及びウォークアブル施策の展開に係る調査・検討業務

(国土交通省都市局)

②地方公共団体からの受託調査 (2件)

- ・豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務 (東京都江東区)
- ・普天間飛行場跡地利用計画策定調査業務 (沖縄県)

③民間からの受託調査 (6件)

- ・大通西4南地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定審査業務
(大通西四丁目南地区市街地再開発準備組合)
- ・(仮称)中野四丁目新北口駅前地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定支援業務 (野村不動産(株))
- ・(仮称)登戸駅前地区市街地再開発事業に係る特定業務代行候補者選定業務
(登戸駅前地区市街地再開発準備組合)
- ・京橋三丁目東地区市街地再開発事業における特定業務代行者選定業務
(京橋三丁目東地区再開発準備組合)
- ・高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発事業に係る特定業務代行者選定業務
(高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発準備組合)
- ・鷺沼駅前地区第一種市街地再開発事業に伴う特定業務代行者選定業務
(鷺沼駅前地区市街地再開発準備組合)

(ロ) 自主研究

- ① 立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業の推進に向け、継続して立地適正化計画策定や事業実施上の疑問点、課題等の実務的なノウハウの蓄積に努めた。
- ② 平成28年度より自主事業として取組んできた「エリアマネジメント実務勉強会」について、令和5年度はシティラボ東京において開催した。
- ③ 全国のまちづくり事例を収集・整理し、情報発信するため、継続して当機構のホームページにおける「先進的なまちづくり事例のご紹介」の充実に努めた。

(4) 表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

(イ) 第20回土地活用モデル大賞の表彰

主催：(一財)都市みらい推進機構

後援：国土交通省

表彰式：令和5年10月25日(水)

会場：アルカディア市ヶ谷(穂高西の間)

受賞プロジェクト：

○ 国土交通大臣賞

・敦賀駅西地区土地活用事業

「TSURUGA POLT SQUARE “otta”」

(福井県敦賀市)

○ 都市みらい推進機構理事長賞

・学生シェアハウスを核としたまちの再構築事業「filプロジェクト」

(富山県富山市)

(ロ) まちづくりアワードへの支援

国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。

(5) 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

(イ) 土地月間記念講演会

開催日：令和5年10月25日(水)

主催：(一財)都市みらい推進機構、(一財)土地総合研究所、(一財)土地情報センター、(一財)不動産適正取引推進機構、(公財)不動産流通推進センター

後援：国土交通省、(一財)民間都市開発推進機構、(一財)日本不動産研究所、(株)日本政策投資銀行

会場：アルカディア市ヶ谷(穂高西の間)

① 状況報告

・「土地行政の最近の動きについて」

国土交通省 土地政策課 土地調整官 廣瀬 公亮 氏

・令和5年度土地活用モデル大賞各賞の概要説明

〈国土交通大臣賞〉

敦賀市都市整備部長

小川 明 氏

(株)青山財団ネットワークス取締役常務執行役員

松浦 健 氏

〈都市みらい推進機構理事長賞〉

富山大学都市デザイン学部 教授

久保田善明 氏

(株)富山市民プラザ サブマネージャー

中屋 州策 氏

② 講演

・小杉町3丁目中央地区第1種市街地再開発事業について

株式会社アール・アイ・エー 金沢支社長 浅井 健治 氏

・「日本橋室町東地区」「日本橋本町二丁目特定街区開発」について

三井不動産株式会社

日本橋街づくり推進部事業グループ長 芝 康行 氏

③ パネルディスカッション

コーディネーター：岸井 隆幸 氏

((一財)計量計画研究所代表理事)

パネリスト：廣瀬 公亮 氏、浅井 健治 氏、芝 康行 氏

小川 明 氏、松浦 健 氏

久保田善明 氏、中屋 州策 氏

(ロ) 都市みらい・地下研・UIT合同講演会

① 第45回合同講演会（オンライン開催）

開催日：令和5年12月13日(水)

演題：「モビリティの未来とまち」

講師：（一財）計量計画研究所理事兼企画戦略部長
筑波大学客員教授、神戸大学客員教授 牧村 和彦 氏

② 第46回合同講演会（オンライン開催）

開催日：令和6年3月7日(木)

演題：「都市行政における最近の話題」

講師：国土交通省都市局都市計画課長 鈴木 章一郎 氏

(ハ) 令和5年度都市みらい調査研究報告会及び講演会

開催日：令和5年9月29日（金）（オンライン開催）

① 報告会

- 1) 令和4年度受託調査・自主研究の概要
- 2) 地下街再生に向けた推進方策の検討
- 3) 機構の「特定業務代行者選定業務」について

② 講演会

- 1) 「これからのまちづくりについて」
筑波大学大学院システム情報系社会工学域 教授 谷口 守 氏
- 2) 「まちづくりに関する最近の話題」
国土交通省まちづくり推進課官民連携推進室長 山田 大輔 氏

(ニ) 令和5年度エリアマネジメント実務勉強会

エリアマネジメントの裾野拡大を目的に、平成28年度より「エリアマネジメント実務勉強会」を実施している。令和5年度は、持続可能なエリアマネジメントを支える“PDCA”をテーマに開催した。

開催日：令和6年3月26日(火)

会場：シティラボ東京（一部オンライン配信）

① 講演会

- 1) 趣旨説明
山口大学大学院創成科学研究科建築学コース准教授 宋 俊煥 氏
- 2) 国土交通省からの情報提供
国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長 山田 大輔 氏
- 3) 専門家からの情報提供
昭和株式会社 企画部営業開発室長 堀江 佑典 氏
- 4) エリアマネジメント事例リレー
(有)ハートビートプラン（大阪府大阪市） 園田 聡 氏
八幡駅前開発株式会社（福岡県北九州市） 井上 龍子 氏
都市再生機構東日本賃貸住宅本部（神奈川県横浜市） 田中佐和子 氏

② ワークショップ

都市(業務・商業系)、中心市街地(商業・住宅系)、住宅地(住宅系)に班分けし、PDCAの各段階での「現状、課題、現場の悩み」の共通点や重要事項について整理を行った。

(6) まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような団体の活動を支援した。

(イ) コンパクトなまちづくり推進協議会

① 第6回定期総会

開催日：令和5年7月19日(水)

場 所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

② まちづくり講演会

- ・「コンパクトなまちづくり」に向けて
東北大学工学部教授 姥浦 道生 氏
- ・立地適正化計画についての最近の話題
国土交通省都市局都市計画課係長 三輪 潤平 氏
- ・都市再生整備計画関連事業の最近の話題
国土交通省都市局市街地整備課係長 堀田 尚史 氏

③ 現地研修会(上越市)

開催日：令和5年12月20日(水)～21日(木)

会 場：あすとぴあ高田雪小町ギャラリー

1) まちづくり講演会

- ・「まちの環境をつくるデジタル地域通貨の構想」
上越教育大学大学院学校教育研究科教授 吉田 昌幸 氏

2) 立地適正化計画講習会

- ・「都市行政に関する最近の動きについて」
国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 角田 陽介 氏
- ・「北陸地方におけるコンパクトなまちづくり」
国土交通省北陸地方整備局都市・住宅整備課長 吹抜 祥平 氏
- ・「上越市におけるコンパクトなまちづくり」
上越市都市計画部都市整備課長 佐藤 誠司 氏

3) 現地視察研修

町家交流館 高田小町、雁木通り、高田城址公園及びその周辺整備等のまちづくりの取り組みについて、現地視察を行った。(参加者 31名)

④ 現地研修会(姫路市)

開催日：令和6年2月8日(木)～9日(金)

会 場：ビズ・スペース・ヒメジ

1) まちづくり講演会

- ・「コンパクト+ネットワーク」の実質化に向けた論点
～あらためて問う近未来に求められるコンパクトな都市とまちとは?～
兵庫県立大学環境人間学部大学院環境人間学科教授 太田 尚孝 氏

2) 都市再生整備計画関連事業講習会

- ・「都市再生整備計画関連事業に関する最近の動きについて」
国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 横山 大輔 氏
- ・「地域の個性を活かしたまちづくり」
国土交通省近畿地方整備局都市整備課長 玉置 栄 氏
- ・「姫路市におけるウォーカブルなまちなかづくりと駅前整備」
姫路市都市局まちづくり部都市計画課長 岩崎 俊明 氏

3) 現地視察研修

キャッスルビュー、大手前通り、姫路駅周辺地区等のまちづくりの取り組みについて、現地視察を行った。(参加者 25名)

(ロ) 都市地下空間活用研究会 (地下研)

① 総会・評議員会

開催日：令和5年6月20日(火) (オンライン開催)

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

令和5年度から「地下・まち一体デザイン『地下空間と近接する再開発との一体的な計画・整備・運営により地下空間とまちの相乗的な価値向上を図る』」をテーマとし、梅田エリアにおける近接再開発に伴う地下空間の改善経緯として、各案件の経緯、計画内容について机上調査を進めた。また、これに併せ、講演会を2回、事例視察会を1回実施し知見を深めた。

2) 地下利活用検討分科会

令和5年度は、「地下空間の利活用のあり方」という大枠の中で、新たに取り組む検討内容を選定するため、テーマ検討を行った。その結果、「地下歩行者空間の整備、運用の在り方に関する研究～海外事例との比較による分析～」をテーマに決め、令和6年度～9年度の4か年を予定して調査を進めることとした。

3) 都市開発との連携分科会

令和5年度から「ウォーカブルな都市と地下空間の在り方」をテーマとし、2か年程度の期間を見込む調査を開始し、国の推進施策と様々なガイドライン等を確認し、参考となる事例を調査した。調査検討では地下空間そのものをウォーカブルにすることに加え、地下空間を活用して地上をウォーカブルにするなど、地上・地下の連携と役割分担を分析することとした。

4) 地下防災に関する情報提供

都市環境エネルギー協会が主催する中央区カーボンニュートラルBCD事業化委員会、新宿新都心地区カーボンニュートラルBCD事業化委員会に参加し、これまでの当研究会の調査研究をもとに地下空間の防災に関する知見を提供した。また今年度から福岡天神地区カーボンニュートラルBCD準備委員会にも参加した。

③ 国際交流活動

第18回ACUUS国際会議が令和5年11月1日～4日にシンガポールで「地下空間一次なるフロンティア」をテーマに開催された。この国際会議に岸井隆幸地下研会長を団長に14名からなる派遣団を構成し、岸井会長の特別セッションでの発表のほか、地下研会員7名が研究発表やパネル展示を行った。また、ACUUS理事である岸井会長に対してサポートを行うとともに、海外の地下空間活用の情報収集を行い、広く会員に情報提供を行った。

④ 講演会等の開催

講演会を2回、懇話会を2回、現地視察見学会を2回開催した。

⑤ 地下空間活用に関する研修会の開催

「第4回地下空間活用に関する研修会」を、令和6年2月6日にオンライン方式で開催した。研修会では地下空間活用の国の施策と動向、法制度の体系、具体的な事例等を講義し、参加者数は30名であった。

(ハ) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議(UIT)

① 総会・評議員会

開催日：令和5年6月23日（金）（オンライン開催）

② 技術研究発表会の開催

令和5年12月1日(金)にハイブリッド方式にて「第35回技術研究発表会」を開催した（テーマ「スマート技術を活用したウェルビーイングなまちづくり」）。国、地方公共団体、民間企業等から15編の論文および2編のプロジェクト・技術報告が発表された（うち4編の論文は共通セッションで発表された。）。参加者数は314名であった。また、発表会後に意見交換会を開催した。

続いて、大阪にて、令和6年2月22日(木)にリアル形式にて「都市づくりについての技術研究発表と講演会」を（公財）都市活力研究所と共催にて開催した。第35回技術研究発表会で優秀賞を受賞した論文3編の発表と、国土交通省都市局街路交通施設課街路交通施設企画室長 福元正武氏による「都市行政に関する最近の話題」、立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 村橋正武氏による「都市計画の今日 一人口減少への取組み」と題した2演題の講演を行った。

③ 交流展示会の開催

令和5年12月1日(金)に、第30回交流展示会をオンライン上の特設サイトに掲載する形で開催した。地方公共団体、公益団体等7団体が展示を行った。参加者数は67名であった。

④ 都市基盤技術サイト「てくTechまちさんぽ」の管理・運営の実施

平成28年9月末から開設している「てくTechまちさんぽ」及び公式Facebookページでの情報発信を実施してきた。平成31年2月からは国土交通省及び参加各社の新しい取組みに関するプレスリリース等をトップページ・最新情報に掲載してきた。

⑤ 講演会等の開催

講演会を2回、現地視察見学会を2回開催した。

別紙 令和5年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。